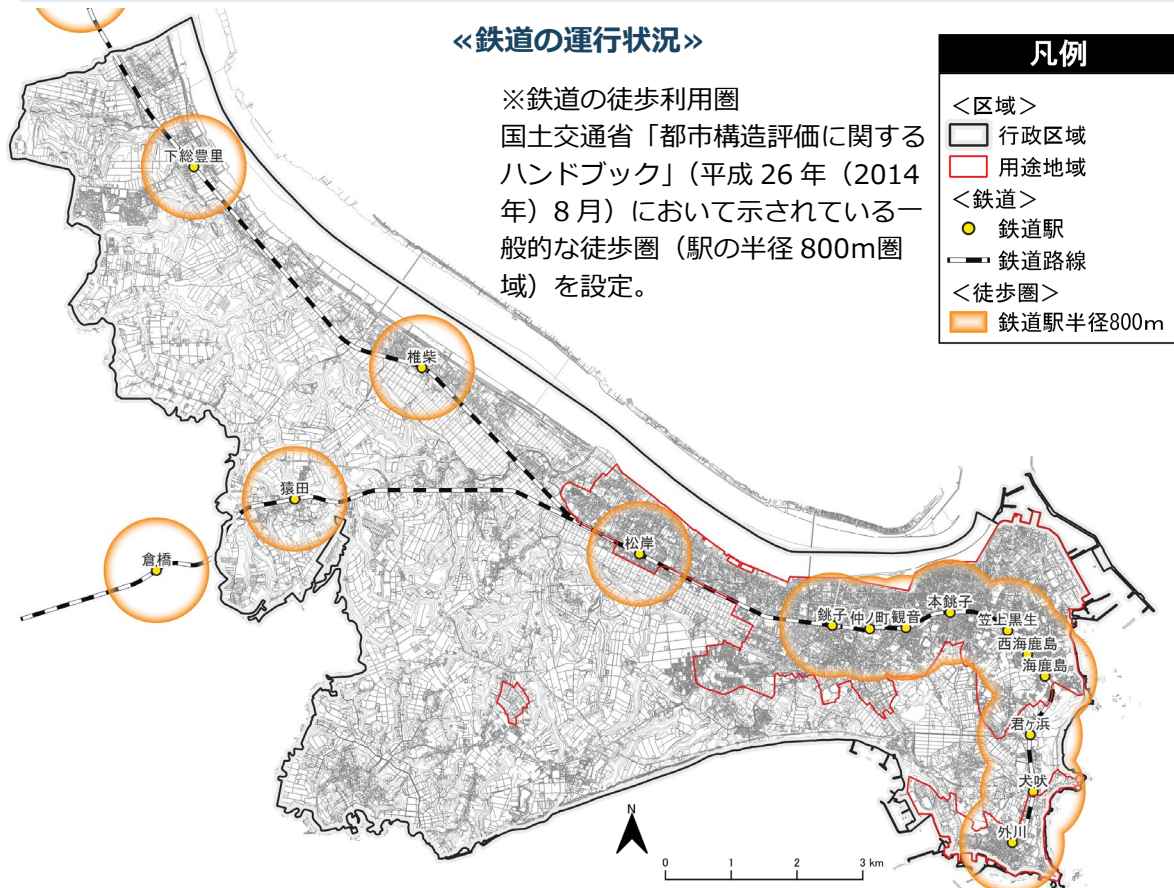


(4) 公共交通

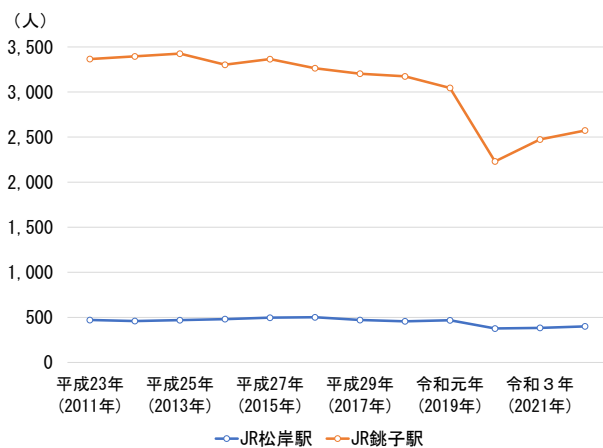
1) 鉄道

- 市内では鉄道が3路線（JR（総武本線・成田線）、銚子電気鉄道）運行しています。
- 駅別 1日あたりの平均乗車人員数は減少傾向で推移していましたが、令和2年（2020年）に大きく減少しているのは、全国的な動向と同様に新型コロナウイルス感染症拡大の影響が主な要因と推測されます。
- 平成27年（2015年）の国勢調査を基に算出した鉄道の徒歩利用圏に居住している人口は33,597人となっており、全市民の52%をカバーしています。



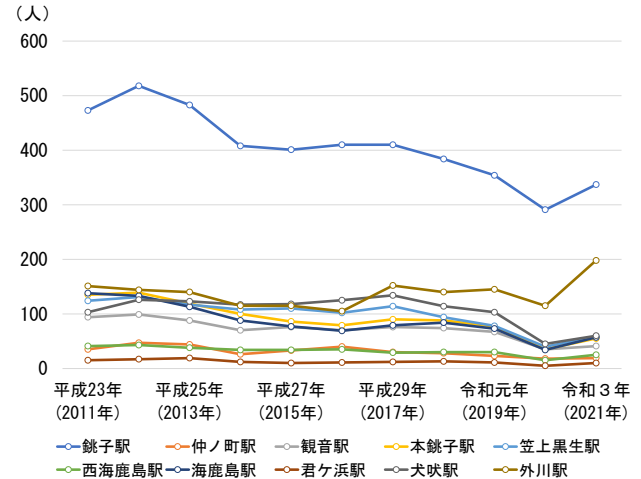
出典：国土数値情報

「**JR 駅別 1日平均乗車人員の推移**」



※JR駅について、無人駅の乗車人員は公表なし

「**銚子電気鉄道駅別 1日平均乗車人員の推移**」



出典：千葉県統計年鑑、JR ホームページ

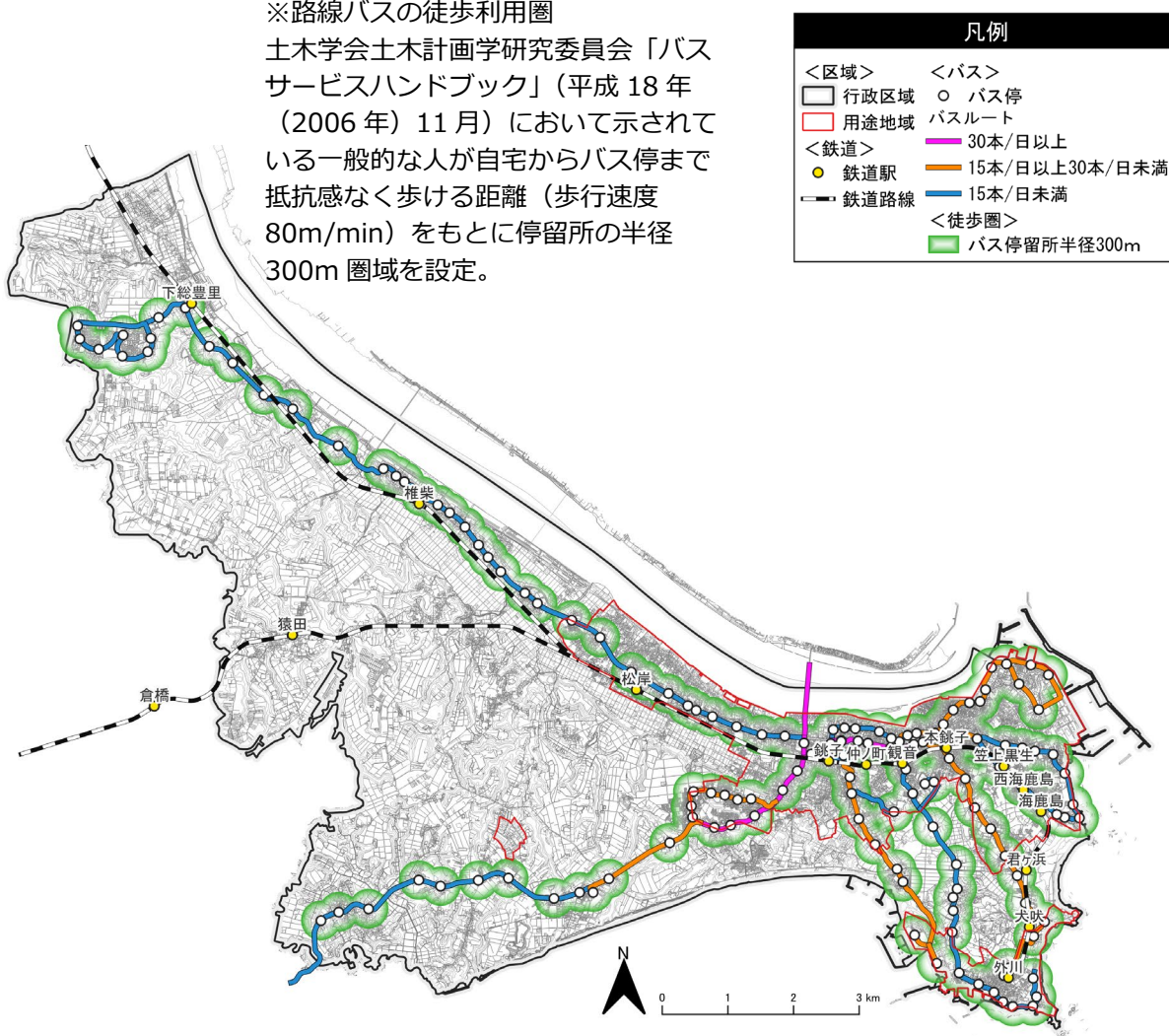
2) バス

- 銚子駅を中心として路線網が形成されています。用途地域内は、バス停徒歩圏でおおむねカバーされている状態です。
- 「基幹的公共交通路線」とされる1日あたり30本以上の運行頻度のバス路線は、銚子駅周辺で形成されています。

《バスの運行状況》

※路線バスの徒歩利用圏

土木学会土木計画学研究委員会「バスサービスハンドブック」(平成18年(2006年)11月)において示されている一般的な人が自宅からバス停まで抵抗感なく歩ける距離(歩行速度80m/min)をもとに停留所の半径300m圏域を設定。



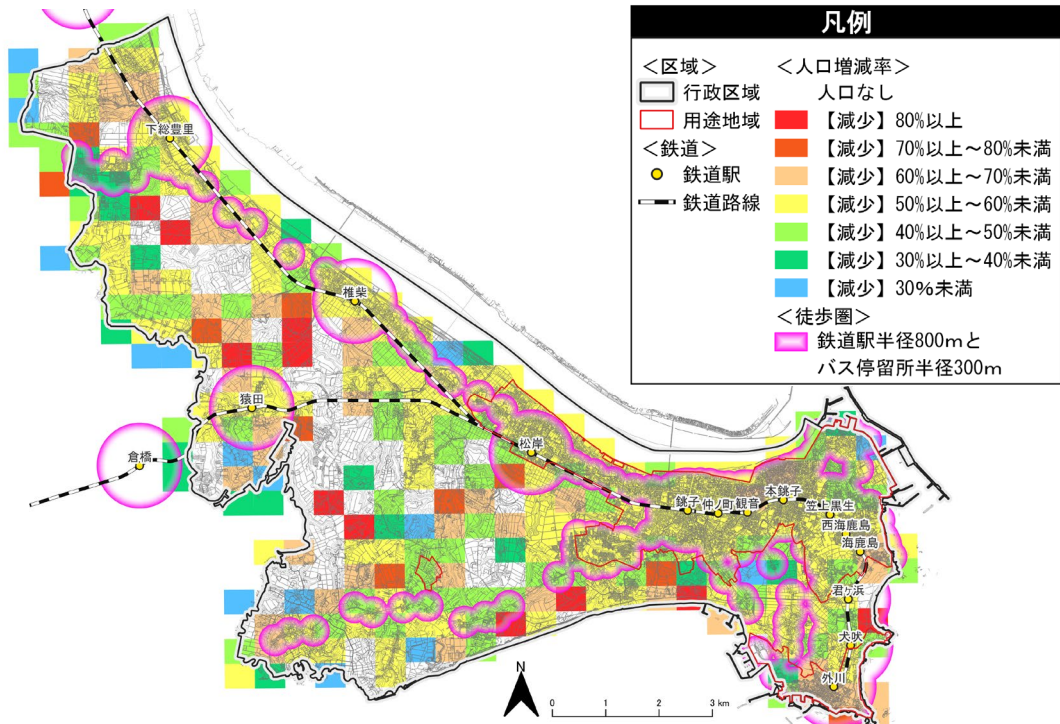
出典:千葉交通(株)HP、京成タクシー成田(株)HP、関東鉄道(株)HP

3) 鉄道と路線バスの徒歩利用圏

- 鉄道と路線バスの徒歩利用圏をみると、おおむね用途地域の全域をカバーしています。
- 平成 27 年（2015 年）の国勢調査を基に算出した鉄道と路線バスの徒歩利用圏に居住している人口は 51,409 人となっており、全市民の 79% をカバーしています。生活サービス利用圏内は、人口減少率 50% 以上のエリアに多く存在します。
- パーソントリップ調査（平成 30 年（2018 年））によると、鉄道駅までの交通手段は、徒歩または自転車の合計が 70% を超えています。

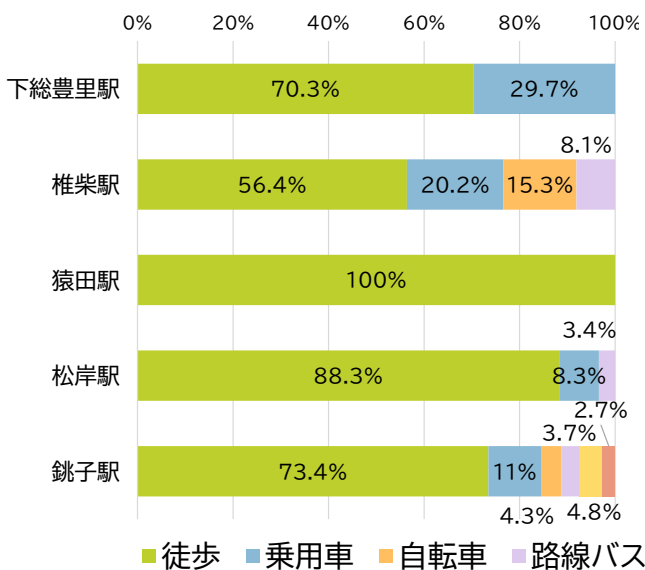
◀鉄道と路線バスの徒歩利用圏

×平成 27 年（2015 年）～令和 27 年（2025 年）人口増減率

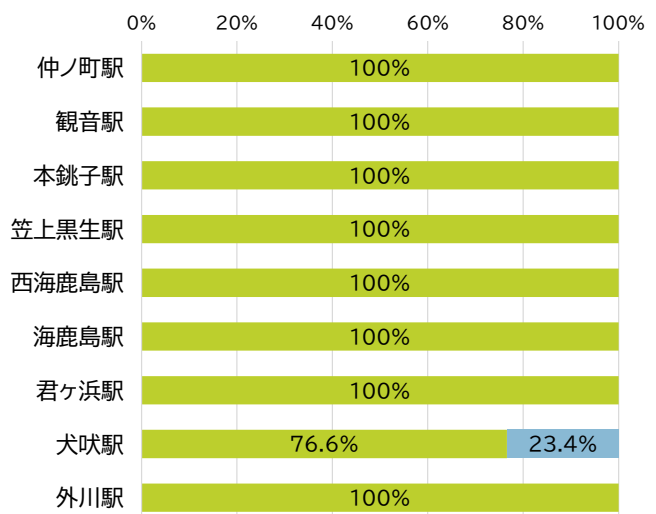


出典：国土数値情報、千葉交通(株)HP、京成タクシー成田(株)HP、関東鉄道(株)HP

◀各駅端末交通手段の割合 (JR) ▶



◀各駅端末交通手段の割合 (銚子電鉄) ▶



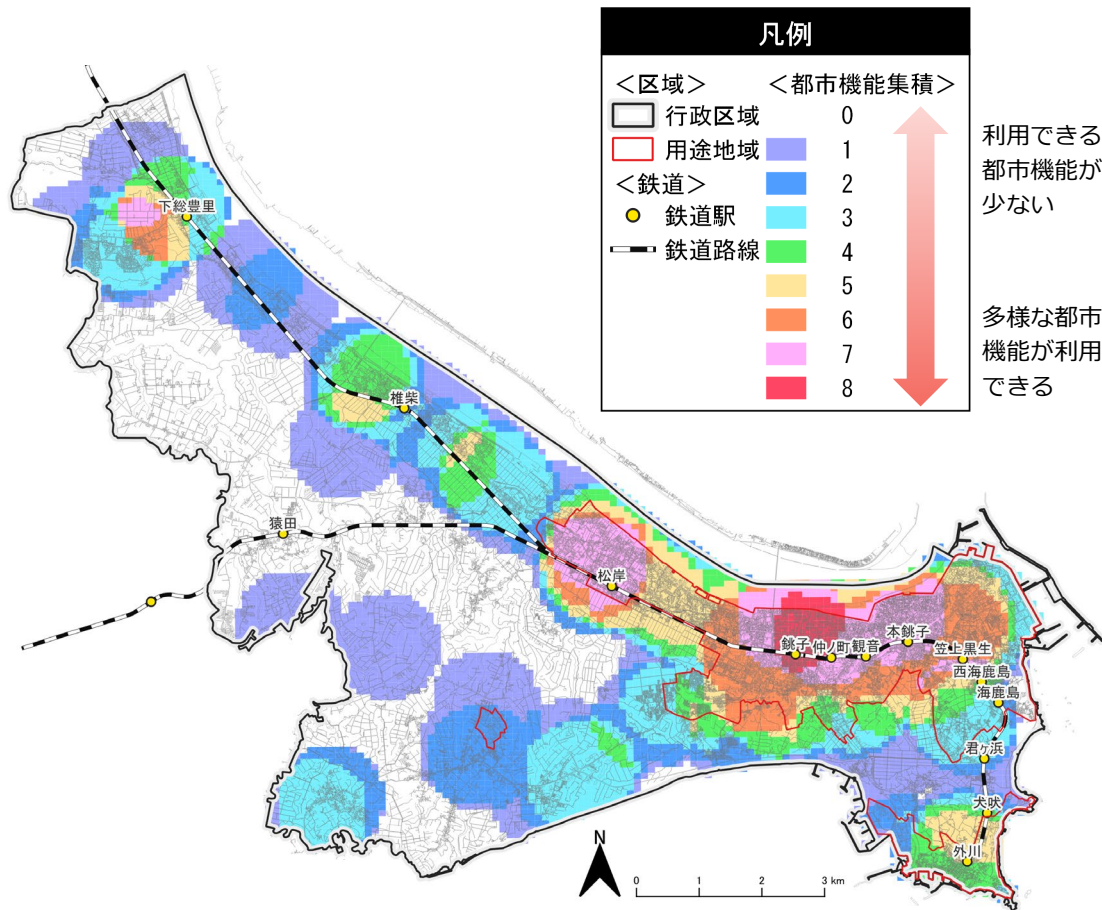
出典：平成 30 年（2018 年）東京都市圏パーソントリップ調査

(5) 都市機能

1) 施設の集積状況

- 用途地域内の駅周辺における都市機能の集積数は6点以上が大半を占めています。特に、銚子駅・松岸駅周辺等に都市機能の集積が多くみられます。
- 平成27年(2015年)の国勢調査を基に算出した生活サービス施設利用圏に居住している人口は34,286人となっており、全市民の52.5%をカバーしています。生活サービス利用圏内は、人口減少率50%以上のエリアに多く存在します。

《施設の積み上げ図》



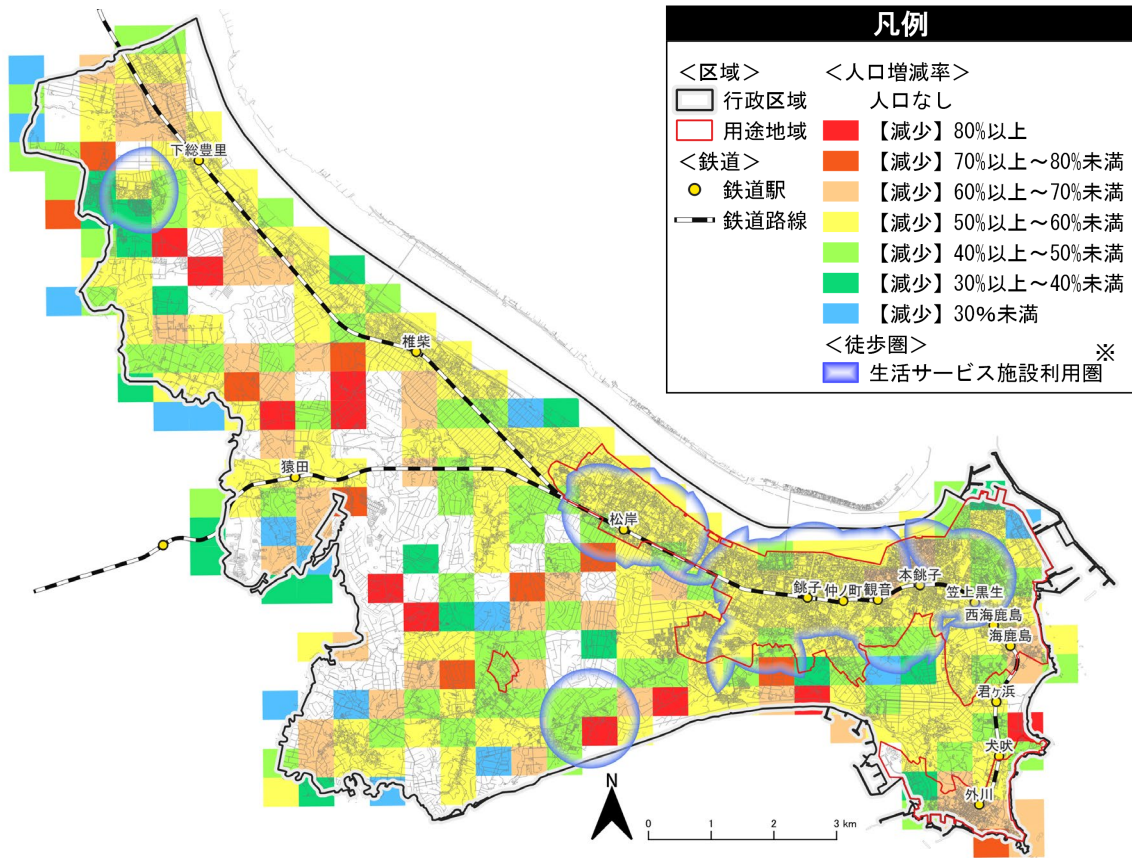
【施設の積み上げ図について】

- ・都市機能施設の立地状況(徒歩圏半径800m)を100mメッシュごとに点数化し、都市機能等の集積状況を点数で示した図。
- ・対象施設の徒歩圏がメッシュにかかる場合に1点加算している。

- ①行政機能
- ②高齢者福祉機能
- ③子育て機能
- ④商業機能(大規模小売店舗・スーパーマーケット、コンビニエンスストア)
- ⑤医療機能
- ⑥金融機能
- ⑦教育機能
- ⑧文化機能

出典:銚子市HP、千葉県大規模小売店舗名簿、スーパーマーケットマップ、iタウンページ、銚子市医師会HP、日本全国銀行ATMマップ、ナレッジステーション

「生活サービス施設利用圏の状況
×平成27年(2015年)～令和27年(2045年)人口増減率」



※【生活サービス施設利用圏について】
商業機能、医療機能、高齢者福祉機能の利用圏（半径800m）をすべて満たす区域。

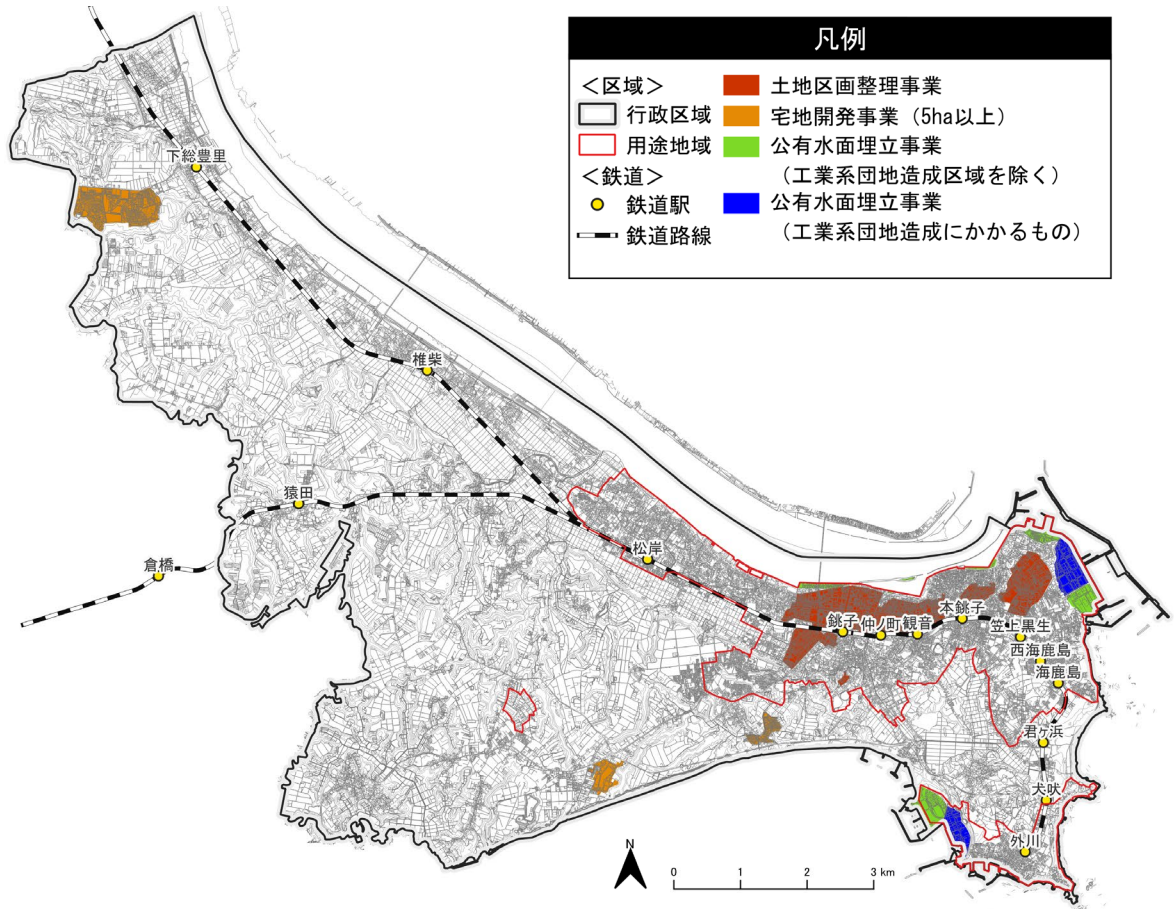
出典：【実績値】平成27年(2015年)国勢調査、【推計値】国立社会保障・人口問題研究所

(6) 市街地整備

1) 市街地開発事業等

- 用途地域内では、銚子駅から本銚子駅周辺にわたる銚子電鉄沿線北側の広い範囲で土地区画整理事業が完了しています。また、黒生地区や潮見町地区では、公有水面埋立事業が完了しています。
- 用途地域外では豊里ニュータウンや、三崎地区で 5ha 以上の宅地開発事業が完了しています。

《市街地開発等状況》

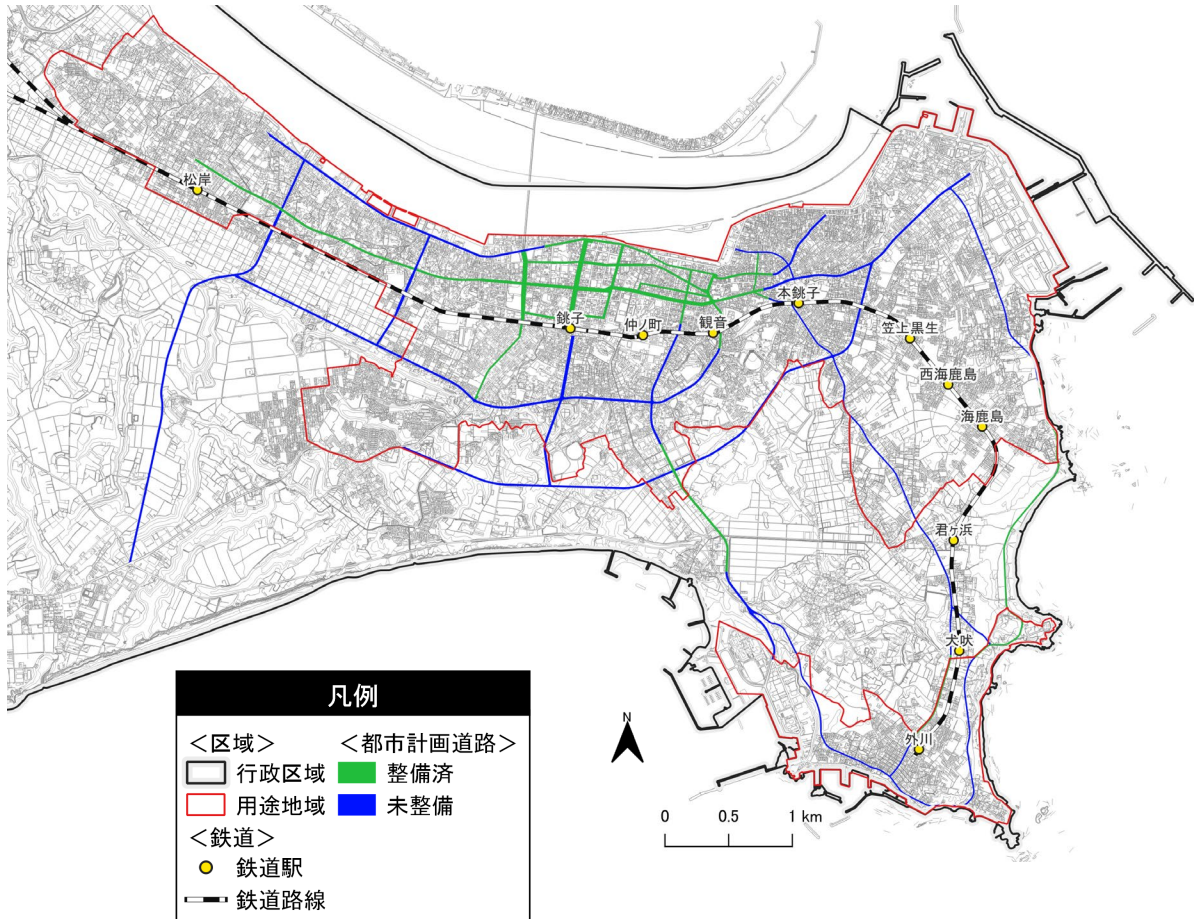


出典: 第 11 回都市計画基礎調査(千葉県)

2) 都市計画道路

- 都市計画道路は、銚子駅から本銚子駅周辺にわたる銚子電鉄沿線の北側でおおむね整備済みとなっています。
- 外川地区や用途地域外では、未整備となっている区間もあります。

《都市計画道路の整備状況》

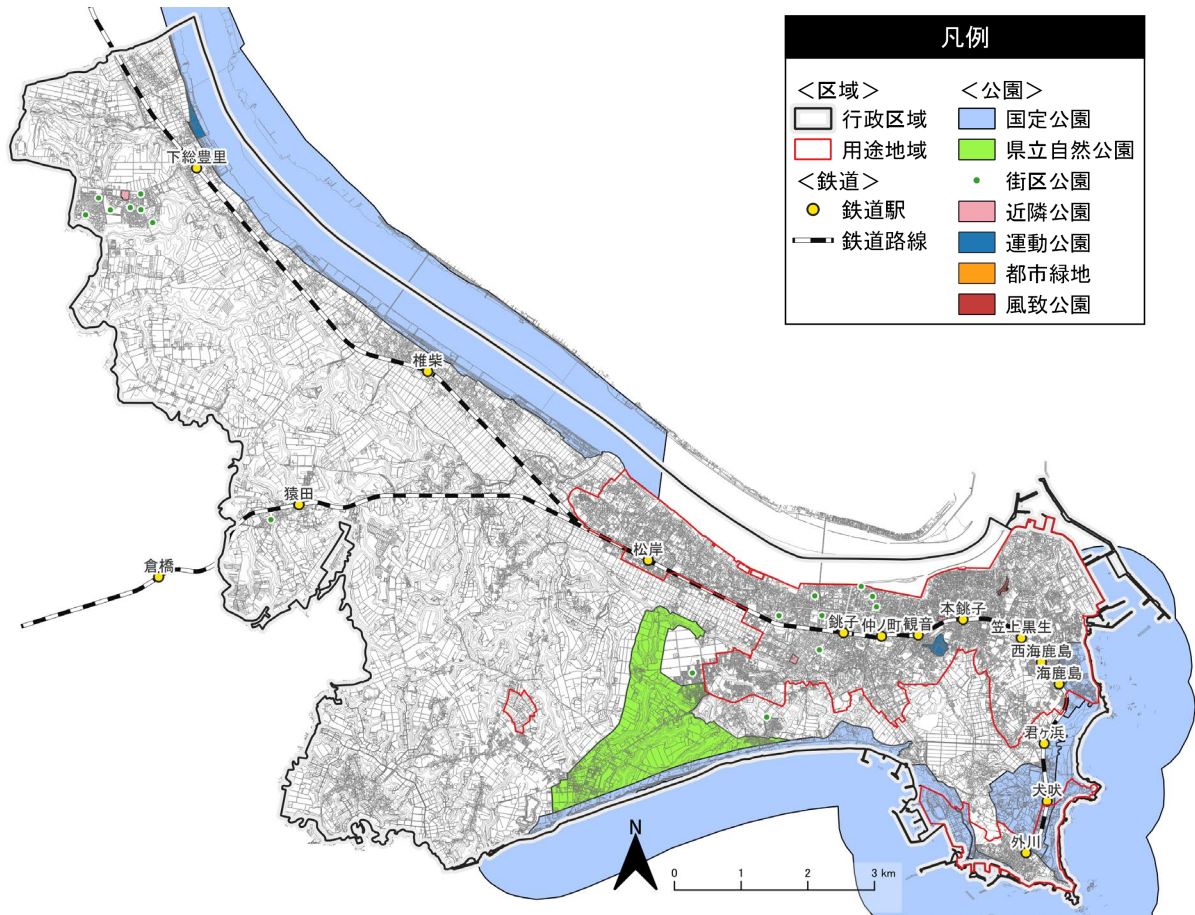


出典：第11回都市計画基礎調査(千葉県)

3) 公園・緑地

- 都市公園は 25 公園あり、街区公園 18 公園（唐子町公園、清川町第二公園等）、近隣公園 3 公園（清川町第一公園、後飯町公園等）、運動公園 2 公園（前宿町公園、桜井町公園）、都市緑地 1 公園（中央みどり公園）、風致公園 1 公園（東部不動ヶ丘公園）が供用開始となっています。
- 沿岸部や利根川沿いの一部の区域は水郷筑波国立公園に、また、市の南側は千葉県立九十九里自然公園に指定されています。

《公園の整備状況》

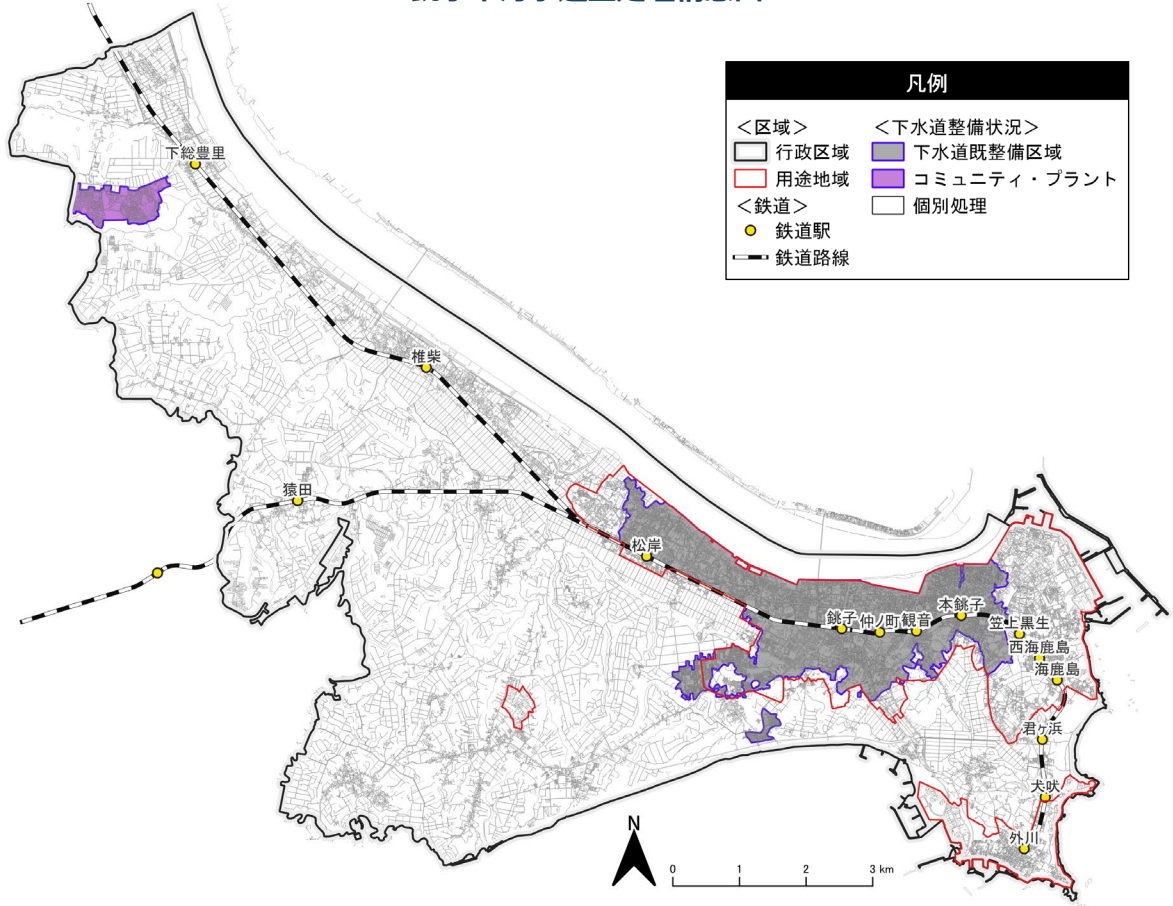


出典：第 11 回都市計画基礎調査（千葉県）

4) 下水道等の汚水処理施設

- 本市では、単独公共下水道及びコミュニティ・プラントによる集合処理に加え合併処理浄化槽による個別処理により、汚水処理が行われています。
- 令和2年度（2020年度）末時点で、下水道既整備区域の単独公共下水道への処理人口は28,138人で、普及率は48.0%となっています。

「銚子市汚水適正処理構想図」



出典：銚子市資料(令和2年度(2020年度)末)

「整備手法別の整備状況（令和2年度（2020年度）末）」

整備手法		処理人口 (人)	普及率 (%)
集合処理	単独公共下水道	28,138	48.0
	コミュニティ・プラント	2,266	3.9
個別処理	合併処理浄化槽	4,338	7.4
未処理		23,872	40.7
合計		58,614	100.0

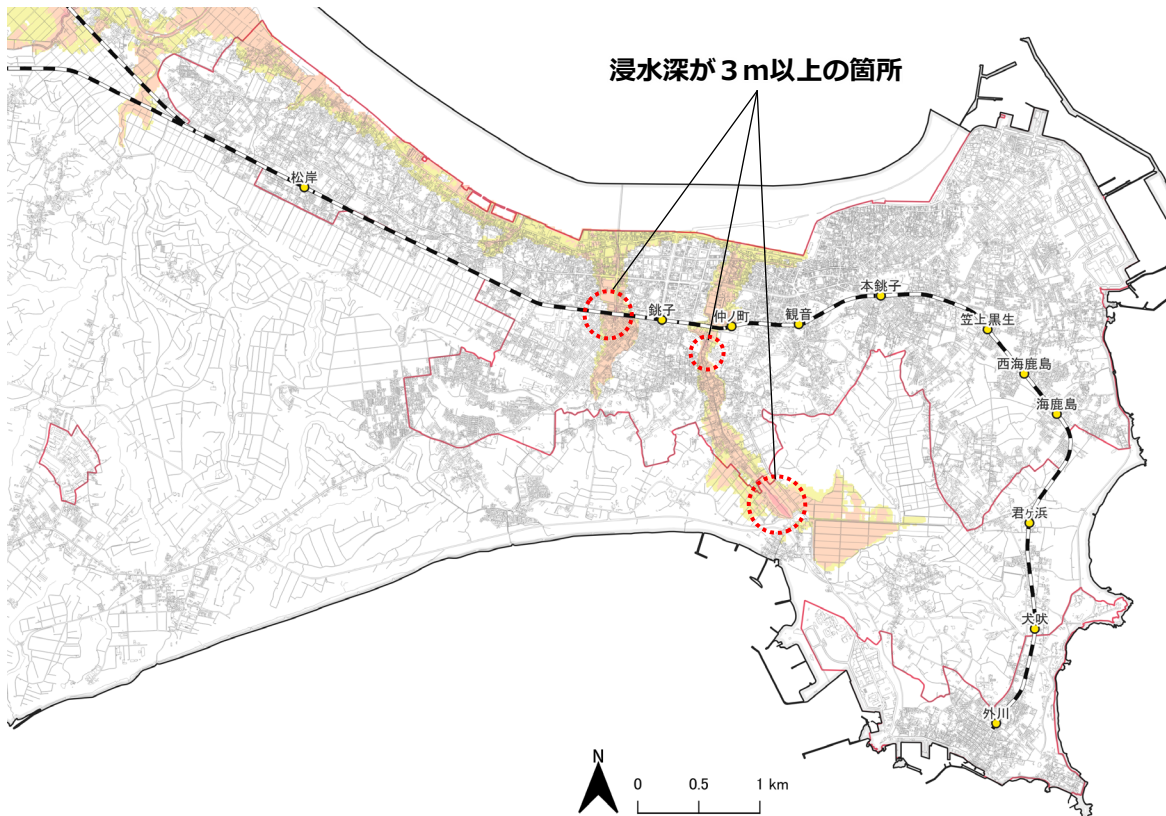
出典：銚子市汚水適正処理構想(令和4年(2022年))

(7) 災害ハザード

1) 洪水浸水想定区域 (想定最大規模)

- 松岸駅の北側で 0.5~3.0m未満の浸水が想定されています。その他に銚子駅北側で 0.5m未満の浸水が想定されています。
- 銚子駅の西側に位置している清水川沿い、仲ノ町駅の西側に位置している滑川や小畑川沿いで 0.5~3.0m未満の浸水が想定されています。一部、5.0~10.0m未満の浸水が想定されている箇所があります。

《洪水浸水想定区域 (想定最大規模)》



凡例	
<区域>	<洪水浸水想定区域 (想定最大)>
行政区域	浸水深
用途地域	0.1~0.5m 未満
<鉄道>	0.5~3.0m 未満
● 鉄道駅	3.0~5.0m 未満
— 鉄道路線	5.0~10.0m 未満
	10.0~20.0m 未満
	20.0m 以上

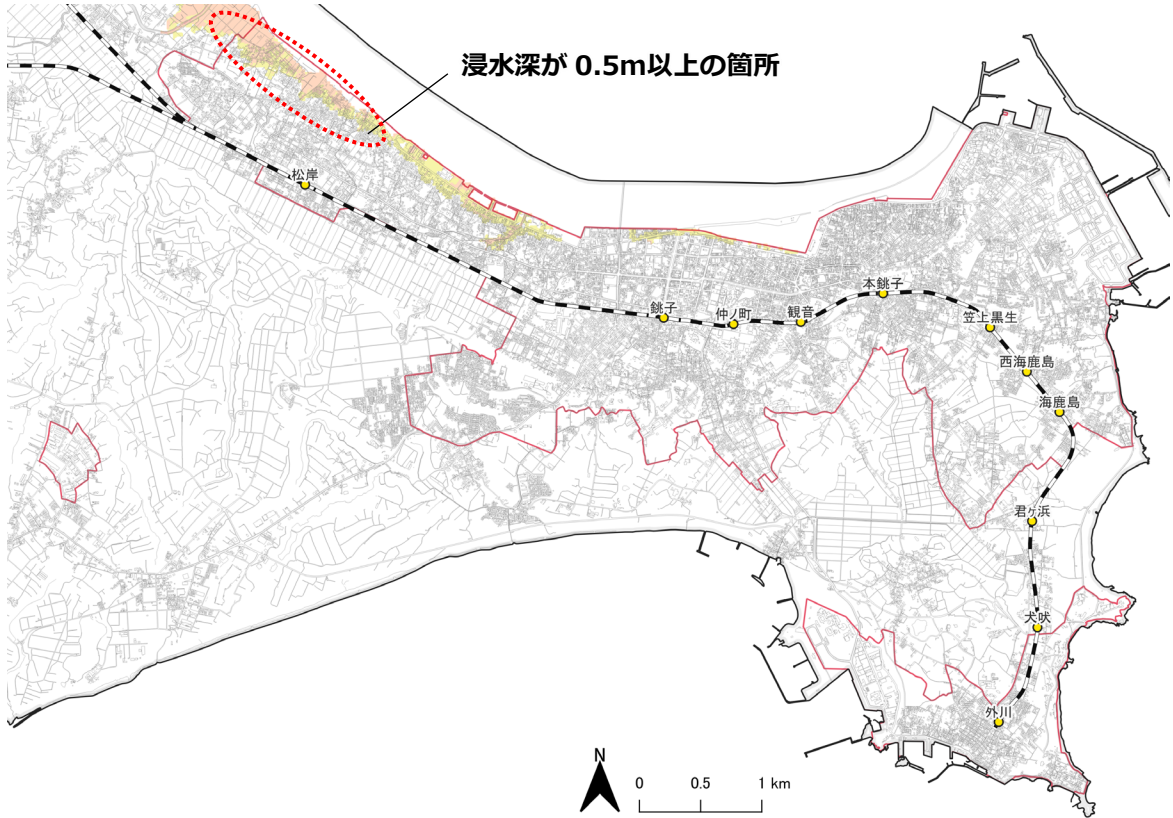
出典: 利根川水系利根川、黒部川、高田川、三宅川、清水川、小畑川水系小畑川(千葉県県土整備部河川環境課)のデータを使用し作成

※「想定最大規模」の降雨規模: 1000年に1回程度を想定した降雨
1000年毎に1回発生する周期的な降雨ではなく、1年間の中に発生する確率が1/1000(0.1%)以下の降雨

2) 洪水浸水想定区域 (計画規模)

- 浸水深が高い箇所 (浸水深 3.0m 以上の高い箇所) は想定されていません。
- 松岸駅の北側で 0.5m~3.0m未満の浸水、銚子駅北側の利根川沿いの一部に 0.5m程度の浸水が想定されています。

《洪水浸水想定区域 (計画規模)》



凡例	
<区域>	<洪水浸水想定区域 (計画規模)>
行政区域	浸水深
用途地域	0.1~0.5m 未満
<鉄道>	0.5~3.0m 未満
● 鉄道駅	3.0~5.0m 未満
— 鉄道路線	5.0~10.0m 未満
	10.0~20.0m 未満
	20.0m 以上

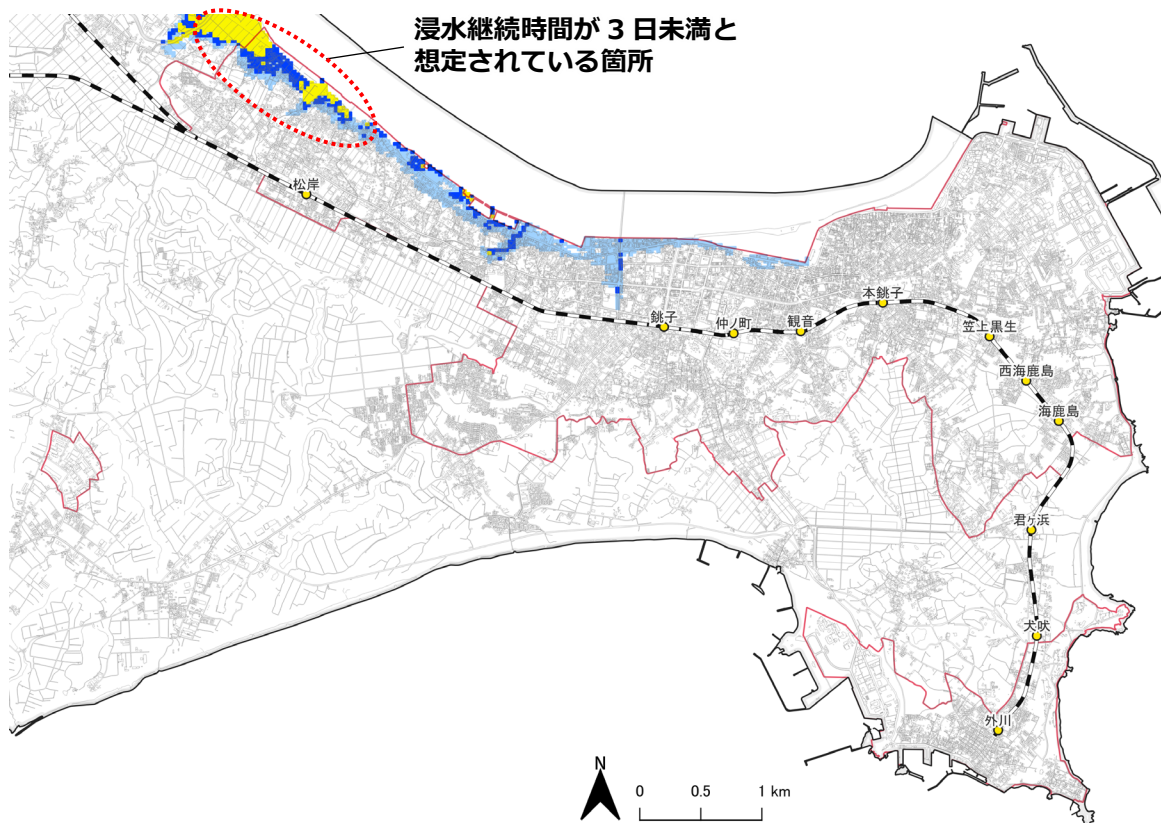
出典: 利根川水系利根川、黒部川、高田川、三宅川、清水川、小畑川水系小畑川(千葉県国土整備部河川環境課)のデータを使用し作成

※ 「計画規模」の降雨規模: 10~100年に1回程度を想定した降雨

3) 浸水継続時間（想定最大規模）

- 松岸駅の北側で約1日～3日間の浸水継続が想定されています。
- 松岸駅から銚子駅の北側にかけて利根川沿いの区域で約1日間の浸水継続が想定されています。

《浸水継続時間》



凡例	
<区域>	<洪水浸水想定区域>
□ 行政区域	浸水継続時間
□ 用途地域	12時間未満
<鉄道>	12～24時間(1日間)未満
● 鉄道駅	24～72時間(3日間)未満
— 鉄道路線	72～168時間(1週間)未満
	168～336時間(2週間)未満
	336～672時間(4週間)未満
	672時間(4週間)以上

出典：利根川水系利根川、黒部川(千葉県県土整備部河川環境課)のデータを使用し作成

※「水災害の被害指標分析の手引き（国土交通省）」によると、浸水継続時間が72時間以上（3日間）になると、長期の孤立に伴う飲料水や食料等の不足によって健康障害の発生、生命の危機が生じるおそれがあるとされています。